

令和元年 8 月 26 日

陳情第 13 号

放課後子ども教室の拡充と長期休み中の居場所作りを促進する陳情書

放課後子ども教室の拡充と長期休み中の居場所作りを促進する陳情書

【陳情趣旨】

私たちは多世代交流を目的とした居場所作りを公民館等を利用して運営している、母親主体の団体です。この夏休み中は開催頻度をいつもより増やし、近隣の小学校にも広く周知をしたところ、小学生やその親子の参加者が増えました。また毎日のように問い合わせが殺到しました。

小学生の放課後の居場所として存在する放課後子ども教室は、夏休みの間は開催されておられません。また地域の他の子育て広場や、まちづくり委員が行う居場所作りの活動も夏休み中は開催をしないとするとところもあります。

小田原市議会議員の方からは、いずれ放課後子ども教室と学童保育が一体化すれば子供の居場所は確保されると伺いました。しかし現在、放課後子ども教室は週1～2回程度、先ほど申したように夏休みの開催はなく学年によって対象が決まっている小学校がほとんどです。

そこで以下のことを陳情させていただきます。

- ①放課後子ども教室の拡充と質の一定化を早急をお願いしたい。また、その目途が立っているのであれば明確化してほしい。
- ②長期休み中の地域の居場所を増やすよう促進をしてほしい。

【陳情項目】

「放課後子ども教室の拡充と長期休み中の居場所作りを促進すること」

令和元年8月26日

小田原市議会議員

奥山 孝二郎 様

提出者

小田原市南鴨宮2-12-14

おだわら児童館連合

代表者 岩瀬 祐子 ㊞